

藤沢

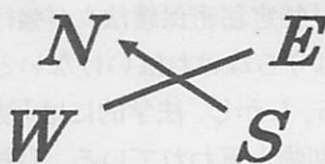
2014年2月1日

第237号

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット



http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

主 議・廃止しない秘密保護法

な 案・いのち神奈川ネット

記 事・リニア新幹線が相模原に新駅

事 業・放射能測定値 米モンサント工場建設中止命令

原発再稼働と海洋の汚染

「脱原発」か否かが国論を二分する大問題になっており、現在戦われている東京都知事選挙においても、争点の一つになっている。

原発の最大の問題点は「放射能」問題で、とくに「死の灰」の最終処分ができないことである。しかし電力各社は、火力発電の燃料費節減のためには原発再稼働が必要だとして、安倍政権と一体となって今夏にも再稼働に踏み切ろうとしている。さらに安倍首相は原発輸出のためのトップセールスを行っており、トルコとの商談を成立させた。EUでは、ドイツ・イタリア・スペインなどが脱原発に踏み切ったが、イギリス・フランスは推進の構えで対応が別れている。このように原発問題は、国際政治においても最大の焦点の一つである。なぜ原発問題がこれほど大きな問題になっているかを知るためには、ドイツの化学者 Otto Hahn が 1938 年に原子核分裂を発見してから軽水炉に至る原発の生い立ちと原子カプセルの存在、核燃料サイクルの問題点の解明が必要となってくる。

他方一般市民にとってもっとも気になるのは、魚介類の安全性であろう。私も方々で質問される。福島第1原発事故による放射能汚染の特徴は、海を直接汚染した初めての事例であることである。それによって海も魚も汚染された。安倍首相は「状況はコントロールされている。汚染水は原発港内にブロックされている」

というが、これはまったくのウソで、汚染水の海への流出が続いている。他方事故から約3年が経過し、海と魚の放射能レベルは減衰している。

現状はどうなっているのか、についての関心は強い。

藤沢エコネットが湘南学習会議に協賛して行われる上記の主題の市民講座が、2月23日(日)14:00—16:30に藤沢市民会館で開催され、私が講師を勤める。多くの市民とともに、この問題を考えたい。

川崎 健(東北大学名誉教授)



如月の光を浴びるロウバイの花 (知人宅庭園で撮影、矢板氏提供)

廃止しかない 秘密保護法

昨年末の国会で「特定秘密保護法」が強行可決された。決まった法律は守らなければいけないとの考え方（法治主義）がある。しかし、法学的には「法治主義」と「法の支配」は別物と言われている。「法の支配」では、悪法は無効にすべきという考え方である。

戦前の日本はドイツと同じで「法治主義」の国であったが、戦後日本は「法の支配」の考え方に変わった。世界の流れが変わったからである。そのキッカケはナチスドイツの体験が大きい。ナチスは手続き的には多数決原理で議席を取った。それを見て多数決は常に正しいわけじゃない。多数派の暴走を防ぐためには違憲立法審査制度が必要と各国が導入し、日本国憲法 81 条の違憲立法審査権が生まれた。

今の最高裁は憲法の番人としてのチェック機能を果たしていない。2010 年福岡高裁は 09 年衆議院選挙について「一人別枠方式は憲法の投票平等の要請に反し、制定当時から違憲だった」と判決した。その後、最高裁は「違憲状態」（2011 年 11 月）、高裁では「違憲」が多数を占め、「選挙無効」まで踏み込んだ（2013 年 3 月）。にもかかわらず、昨年 11 月の最高裁は、一昨年の衆議院選挙（現国会議員）の「一票の格差」訴訟で「違憲状態」とはしたが、「選挙無効」の請求は棄却した。定数は正が進んでいないにもかかわらず、なぜ、無効ではないのか根拠のある説明はなされていない。もはや、正当性を失ったも同然の国会（民意を正しく反映していない小選挙区制下で実現した虚構の多数派）で、選挙公約にも無かった秘密保護法の悪法を強行採決し、圧倒的多数の国民が求める脱原発の声には背を向け、交渉過程を国民には知らせず TPP を進めている。安倍首相の靖国参拝により、侵略戦争を肯定する行動、集団的自衛権行使の容認を強行しようとしている。戦後、半世紀にわたって自民党政権は集団的自衛権の行使の容認は否定していた。

さらに、世界経済フォーラム（ダボス会議）での安倍首相の発言は欧州メディアに驚愕を与えた。「日中の軍事衝突に至る可能性」についての質問に、それを否定せずに「偶発的な武力衝突」の危険性を述べた上で、第一次世界大戦の例を持ち出したからである。英 BBC の経済エディターの「中国との緊張を緩和する

ロードマップ（工程表）を持っているか」との問いに明確な工程表（計画）を示さなかったことが問題になっている。菅官房長官の通訳の行き違いとの弁解はこの本質を見失っている。深い知性の場合（ダボス会議）での首相の発言は取り返しが付かない。日本の首相として失格である。

政治は国会の中だけで決まるものではない悪法を止めるのは国民の責任である。国会外の取り組み、運動が大事。悪法は無効！！廃止できる。憲法が保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない（憲法 12 条）。

宮地俊作



米バイオ(モンサント社)工場建設中止命令

除草剤に耐性のある遺伝子を持つ遺伝子組み換え作物の種を除草剤とセットで販売している多国籍バイオ化学メーカーのモンサント社は、アルゼンチンの工場建設に待ったをかけられている。周辺住民が健康被害を訴え、裁判の控訴審で 1 月 8 日勝訴したのだ。

会社は上告をしている。コルドバ市の遺伝子組み換え大豆畑に囲まれている家では、がん患者が増え、白血病や奇形の子が生れた。昨年 10 月、毎日新聞に被害が掲載され、反響を呼んだ。

日本では、消費者の反対が強いことから遺伝子組み換え作物の栽培をしている生産者はいないが、環境省のカルタヘナ議定書関連サイトで検索すると、トウモロコシだけでも 50 種を超える遺伝子組み換え種の栽培が認可されている！

<https://ch.biodic.go.jp/bch/OpenSearch.do>

EU では、原料のトレーサビリティに関する書類があることを前提に 0.9% までは義務表示対象から外されているが、日本の表示では 5% まで対象外で、しかも 5% までなら「遺伝子組み換えではありません」と表示してもいいことになっているのは問題であり、さらに植物油には表示義務がない。（青柳節子）

「いのち神奈川ネットワーク」に参加

福島原発事故から3年が経とうとしている中、放射能の影響が大きい福島親子・子どもたちを招待して一定期間保養に取り組んでいる、神奈川の団体が情報交換をしあっている。1月25日には各団体の様子が話されたいへん参考になった。

◆冬休みに行った川崎の団体はクリスマスの行事を取り入れてのプレゼントやケーキ作り、大学生、高校生に企画等を任せ、子どもたちに人気の若い世代が担当し大成功だったとの報告。

◆福島から避難して暮らしている子どもたちとの交流会を度々行い、1月の行事当日でお餅つき、つきたてのお餅を差入れて下さった。

◆アカデミーキャンプは今回は1月5日～7日に猪苗代で行われ、小学1年生から高1年生まで49人で「カラダとアタマを鍛えよう」のテーマどおり国際ルールにそった雪合戦や捻挫の応急措置を学んだりカロリーや栄養バランスを学んだり、とてもユニークなキャンプを実施している報告だった。

◆民家を借りて10日間ほど2家族を保養した団体も、農家の野菜収穫体験や土をさわって大喜びと工夫したものであった。

◆「ふくしまつりフレッシュ in 湘南&こどもの国」では南相馬市に移動教室を提案している。いま募金を集めることが優先課題であると報告。

◆どの団体も学生さんの活躍が目立った。

◆これからの保養には医療面での対応が大切である。ノロウイルス、インフルエンザなどで看護師の参加、小部屋の確保も必要との報告。

◆神奈川に避難している被災者が横浜地方裁判所に集団訴訟を起こし、その支援をと「福島原発かながわ訴訟を支援する会」の結成会が1月29日(水)6時半から横浜開港記念会館で行われるので支援をとの訴えもあった。

◆この会でも健康や原発に関しての学習会を行うことも決められた。

(青柳節子)



リニア新幹線駅が相模原橋本に

神奈川自治体学校が11/24開催され「自然エネルギーへの転換と自治体の役割」分科会でリニア新幹線相模原連絡会事務局長の話題提起があったので記します。

夢の超特急と思っていたリニア中央新幹線がわからかに浮上し、現実味を帯びてきた。「準備書」により、相模原市橋本駅に「リニア中央新幹線」の駅ができることが明らかになった。品川と名古屋を結ぶ中間点の駅で、30mの地下に地下駅の構想。出入口は3階になるという。

リニア…は「超伝導磁気浮上方式」と呼ばれ、車体の側面に超伝導の電磁石コイルを設置、壁面の側面に設置したコイルとの相互作用により浮上し推進する。電力は車体ではなく壁面のコイルに供給する。

橋本駅周辺は道志川沿いで風光明媚な所である。新駅の位置がわかり、また車両基地も建設の予定となっていることが説明会でわかりびっくりしたとのこと。鳥屋車両基地は駅から4km離れていて地下40mに作るという。問題点はトンネル事故や残土処理も心配であるが活断層を横切る事にもなり、①地下水脈が切断られて生活用水となっている井戸水が枯れ、川の水が枯れる恐れがある。②膨大な消費電力を使う。時速500kmで走ると、新幹線の3.4倍の電力消費 ③安全性や環境問題につながる。などの理由で採算性のない無謀な計画である。中止してこれからの日本に何が必要かを考え直す時であると報告。

自然エネルギーの導入にもっと本腰を入れ、エネルギーの地産地消を推進していくための資源はたくさんある。一例では山梨県道志村村営「道志の湯」は日帰り温泉施設で相模原市と接しているため利用客が多い。この施設は従来木質のチップやペレットを燃料にしていたが、薪を燃焼してボイラーに開発した新しいもので、コストが従来より半分以下、重油も極端に減り、CO2の削減は547tだったのが75tと13%に減った。薪は山林所有者による森林整備にも繋がり、長さ80cm太さ20cmを使用、村が1㎡を5,000円で買い上げ使用している。

このように自然エネルギーを活用してエネルギーの地産地消を進めようとの発言であった。

(日比遥)

「春の ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南 & こどもの国」ご支援のお願い

春休みに福島の子どもたちを湘南に招き、自由に遊んで楽しんでもらいたい…そんな思いで、夏休みに続いて第4回を企画しました。放射能の影響で数々の困難の中に過ごす子どもたちを少しでも長く湘南で過ごしていただきたいと取り組んでいます。昨年と同様に、皆さまの厚いご支援をお願い致します。資金とボランティアを募集しています。今回は4泊5日ですが、移動時の見守りや案内、車の運転、荷物運搬などお手伝い出来る方はお申し出ください。

日程 3月26日(水)～30日(日)

27日、28日は江の島に泊まります。29日30日は子どもの国に宿泊します。

主催：福島の子どもたちとともに・湘南の会

連絡先 電話 090-5099-4264

FAX 0466-87-4922 青柳

募金等は別紙チラシをご覧ください



放射能測定値

学校給食の食材の測定値(藤沢市HPより)

40 Bq/Kgを超えた食材は使用を控えることとしていますが、いずれも検出下限値3Bq/kg以下でした

2014年1月に検査した給食用食材の一部

赤えんどう豆水煮	(北海道産)
あじの干物	(長崎産)
大豆	(藤沢産)
カリフラワー	(埼玉産)
ラ・フランス	(山形・秋田産)
シュウマイ	(神奈川産)
牛乳	(山形)
小麦粉	(岩手産)

ECONET INFORMATION

原発再稼働と海洋汚染

～今の政治・経済をどう見るか講座～

講師 川崎健さん(東北大学名誉教授)

日時 2月23日(日) 14:00-16:30

場所 藤沢市民会館 第2会議室

資料代500円

共催:湘南学習会議/鎌倉逗子学習会議/藤沢エコネット



映画「放射能を浴びたX年後」と福島

地方ローカル局が追った渾身のドキュメンタリー

2月28日(金) 2回 14:30- 18:00-

関内ホール(JR関内駅5分) ¥800

主催 原爆と原発を考える 神奈川実行委員会

問合わせ 090-4439-2558

講演 福島「安全安心キャンペーン」のウソ

～医師だからこそ知る福島の真実～

講師 杉井吉彦さん(ふくしま共同診療所医師)

2月9日(日) 14:00～ 参加費300円

平塚市民活動センター(平塚駅南口JAビル)

主催 福島の親子とともに・ひらつか

連絡/問合わせ 小嶋 040-6798-7534



藤沢エコネットから

会費・購読料の納入は

ゆうちょ銀行(9900) 店番(029)

当座預金 0046501 73ザエコネット

(従来用紙の方法も利用できます)

会員募集=年会費・購読料→3000円

事務局会議2月12日(水) 14:30～

推進センターにて

《編集後記》大寒を過ぎ、インフルエンザが猛威を振るい始めた。加えてノロウイルスも。予防注射をしてもインフルエンザに罹る。日頃の抵抗力、免疫力、手洗い、うがいが一番である。2月4日は立春。ソチオリンピックも開幕、2月市議会も始まる。江ノ電江ノ島駅近く、常立寺の枝垂れ梅も見頃になるので、カメラを持って出かけませんか。(A)